



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄住民の権利拡大（国政参加問題）（ ）（在ソ大 外務省外交史料館レファレンス番号：H221450）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.1 公開日：平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号：A'.3.0.0.7-1(52) CD・DVD番号：H22-009
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43465
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

在
ノ
大

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官
務務 房
次次
巨官官審審長

儀人会管計

文(享給)

参旅移

長(傳信)

参(憲)

長(前)

参(北東)

長(中西)

参(保中)

長(北審南)

参(英)

長(西東)

参(ア)

長(近)

参(次商国米ア)

長(二カ)

参(調)

長(統ラ)

参(経)

長(政技)

参(協)

長(条規)

参(軍社)

長(政経科)

参(内)

長(道外)

文(文)

長(文)

68年10月11日18時45分 米スクリ
68年10月12日03時25分 本省 着 米北

外務大臣殿 中川(大使) 臨時代理大使 總領事 代理

おきなわ日米協議委

第2389号 平

10日イヌヴニステヤは「おきなわ代表の国政参加と言つても実際には、国会に出席するだけのことであり、投票権を与えることは考えられていない。11月のおきなわ選挙を前にして、東京とワシントンは民主勢力統一戦線のスロ一ガンの力をよわめようと全力をつくしている」と述べた東京特派員記事に掲載した。

(3)

ソカヒ

大政事外外務省

事務次長
大臣官舎審議長
秘書長
文書課長

参謀長
参謀長
参謀長

参地中東
参北北
参西東
参西東

参書近ア
次総経国万
参政二
参政二
参政二
参政二
参政二
参政二

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

267

電信写

70年11月17日13時10分
70年11月18日00時33分
本省

外務大臣 閣下 参川 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ選挙(論評)

第3390号 平

17日プラウダは「民主勢力の成功」と題する16日発ビ
リニョコマ東京特派員のオキナワ国政参加選挙に関する記
事を掲載しているところ。要旨次の通り。

1. 日本国会へのオキナワ人民代表の選出は民主勢力の成
功に終わった。衆参両院の7議席のうち自民党は3議席を獲
得したに止まった。

2. 人民党のセナガ、上原オキナワ全単労委員長及びキヤ
ンオキナワケンそ国復帰協議会長が国会議員に選ばれたこ
とは注目をひいている。これらの人々は占領軍の弾圧に断
て反対してきたことで広く知られている。

3. フクチオオキナワ革新勢力共闘会議事務局長は電話で
次の通り語った。

「今次選挙の結果は、サトウ政府及び自民党のオキナワ「
復帰」政策に対するオキナワ人民の明白な回答である。サ
トウ政府はしゅう知の如く、この政策によつてオキナワに
核兵器を含む米軍基地を維持し、アジアにおける侵略の基
地としてのオキナワを維持することに同意を与えた。サト

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ウ政府はオキナワ復帰を口実に、日米安保体制のわく内て
の日本の再軍備を強化せんとしている。われわれはこのよ
うな政策は戦争の危険をはらむものであるとみなしている
。オキナワ人民はこのような政策には賛成しておらず、そ
れが今回の革新勢力の勝利及びオキナワ人民によるわれわ
れの政策に対する支持の理由である。」

(了)

2-

外務省